



知る、考える、進めるために。

除染情報プラザ

福島県



福島再生

REPORT

48

平成25年8月1日

福島の除染活動状況をお伝えします。

夏祭り

本宮市・田村市・新地町

夏祭りで地域の絆を実感。
除染を終えた公園や運動場に
住民たちの笑顔が集う。



待ちに待った水遊び。会場となったみずいろ公園（本宮市）では、地元の子どもたちが歓声を上げながら楽しんでいた。



本宮市「もとみや麦酒&こどもフェスタ」でビールを楽しむ地元の方々。



住民の憩いの場であるみずいろ公園（本宮市）を除染している様子。

地域の絆を感じる夏祭り。本宮市、田村市、そして新地町では、昨年度から今年度にかけて住民の憩いの場である公園や運動場の除染が終了しました。毎年、地域で企画され、実施されてきた夏祭りもより安心して参加できるようになりました。

本宮市では7月27日と28日に「もとみや麦酒&こどもフェスタ」が市内のみずいろ公園で開催されました。日本有数のビール工場が立地する同市では、来訪者がビールで喉を潤しながら、コンサートをはじめさまざまな催しを楽しみました。この公園は噴水や滝のある親水公園として知られ、夏には多くの市民が水遊びを楽しんできました。市役所建設部建設課管理係長の渡辺清文さんは、「昨年度にアスファルトの洗浄

と芝生の張り替え、植栽の土の除去の作業が終了しました。この夏は多くの親子連れが戻って来ました」と語りました。祭りの実行委員長の菊田広道さんは、「今年は震災前と同じ会場のみずいろ公園で、ようやく開催できました。これを機にもっと明るい町にしていきたい」と笑顔を見せました。

8月3日には、田村市では「都路灯まつり」が、新地町では「やるしかねえべ祭」の夏祭りが開催されました。会場となった都路運動場、新地町総合公園では、それぞれの地元主催者が来場者を迎える準備を進め、笑顔が集うことで地元の元気になるようにという思いが込められた夏祭りでした。